

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・十分なスペースがある。 ・学習室と遊戯室、庭など、それぞれのスペースが分かれている。 ・学習や課題を行う場所、庭スペースがしっかり確保できている。 ・部屋が多いので、適切なスペースで行えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			・常にプラス人員がいる。 ・人手が足りないと感じたことはあまりない。また、イベントがある時には職員を増やすといった工夫をしている。 ・十分な人数配置されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	1	・構造上バリアフリーではないができる限りの配慮はしている。 ・マンションなので完全にバリアフリーにするのが難しい。 ・賃貸のため、できる範囲内で配慮できている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			・業務改善は全職員の意見を取り入れ行える環境となっている。 ・職員会で意見を出し合い業務改善を行っている。 ・個人個人で責任感を持ち業務を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		・毎年実施し可能な限り改善している。 ・毎年アンケート調査を実施し、HPで公開している。保護者の意見も拝見し、改善している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・必ず公表している。 ・毎年アンケート調査を実施し、HPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	2	・外部評価は実施していない。 ・分からない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・毎年複数の研修に参加ができています。 ・オンライン研修に参加し、研修後は他の職員が書いた研修報告書にも必ず目を通すようにしている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・出来ている。 ・個別に応じてできている。 ・児発管を中心に職員と共有して作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			・使用している。 ・職員間で話し合い、アセスメントツールの結果に基づいて支援している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・全職員で共有している。 ・一人で企画をする時にも、職員間で意見を出し合いながら活動プログラムの立案を行っている。 ・児発管を中心に職員で話し合い行っている。

適切な支援の提供

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・様々な工夫を行っている。 ・長期休みには、外出や、おやつ作り、プールなどいろんな活動を行っている。 ・被らないように考えて行っている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		・各シーズンの行事などにも合わせ設定している。 ・宿題以外にも個々のレベルに合わせた課題を取り入れているが、平日と休日とで、やってる課題や量は変わらない。 ・学校休業日には、できるだけ一人一人に応じた支援を行っている。 ・利用者の課題に沿った支援を多角的に行っている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・個人に合わせ対応している。 ・両方取り入れて立案している。 ・利用者の課題に寄り添った支援を行っている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		・業務前に関わらずLINEを活用し共有できる体制を取っている。 ・必ず打ち合わせは行っていない。役割分担は臨機応変に行っている。 ・デジタルツールを活用し、情報共有できている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・業務後に関わらずその都度LINEで共有できる体制を取っている。 ・勤務時間の都合上、支援終了後に必ず打ち合わせはできていないが、各々がHUGで記録を読み、その日の振り返りを行っている。 ・デジタルツールを活用し、情報共有できている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・職員会議で記録のとり方なども定期的に議題に上げ検討している。 ・自分が打ち込んだ記録を読み返すようにしている。また、チェックシートを用いたり、別の職員がチェックしたりと、二重、三重のチェックをしている。 ・複数人で記録をし、確認できている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・日々のLINEや職員会議で全職員の意見を取り入れ出来ている。 ・行っている。 ・相談支援専門員と連携できている。 ・担当の職員が定期的に行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7			・出来ている。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・必ず参加している。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		1	・その都度行っている。 ・送迎の際に担任の先生と確認している。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		・現在該当者がいないが必要時には対応できる体制は取れている。 ・現在そのようなお子さんが通所していない。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・ 必要時には情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1		・ 現在該当者がいないが必要時には対応できる体制は取れている。 ・ 現在、福祉サービス事業所に移行しているお子さんはいないが、今後行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		・ 相談支援事業も併設しているので日頃から連携が取れやすい状況にある。 ・ 相談支援員とは繋がっており、有事には連絡を取れる体制はあるが、積極的な連携は行っていない。 ・ 必要時にはできている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	1	・ 地域の児童館などを利用したりイベントに参加し出来るように努めている。 ・ 活動する機会を取り入れていきたい。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		5	2	・ 機会があれば参加の出来る体制は出来ている。 ・ 参加していない。 ・ 不明。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・ こまめに情報共有できている。 ・ 保護者との連絡ツールで毎日の様子を写真付きで公開する他、送迎時にも保護者へ一言伝えるようにしている。 ・ 利用毎できている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	2	・ 必要時には助言など出来るように努めている。 ・ 今後取り入れていけたら良いと思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・ いつでも見て頂ける環境を設定している。 ・ 契約や、見学に来た際に、担当の者が詳しく説明している。 ・ 契約時に行っており、見える場所にも掲示している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・ 時間外でも可能な限り対応している。 ・ 悩みや相談があれば、必要な助言や支援を行っている。 ・ ツールを利用して保護者と連絡が取りやすい環境にしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		2	・ 保護者参加のイベントなどを実施し関係を築いてもらえるよう努めている。 ・ 父母の会や保護者会は開催していない。 ・ イベント等で保護者も参加して交流している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・ 苦情はあまりないが可能な限りの対応はその都度行えるよう体制を取っている。 ・ 苦情はあまりないが、何か起きた際には、保護者全員にお知らせをしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・ 毎月発行している。 ・ ツールを利用して事前にお知らせをしている。

非常時等の対応	35	個人情報に十分注意しているか	7			・注意するよう努めている。 ・注意し、シュレッダーを使用している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・可能な限りできるよう努めている。 ・好きなもの、嫌いなことなど事前に把握している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		1	・お知らせは行なっているが参加がない状況ではあるため改善は必要。 ・積極的には行っていない。 ・地域住民も参加可能なイベントも行っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			・いつでも見て頂ける環境を設定している。 ・保護者に対しては契約時にマニュアルを周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・定期的に年に数回行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・各研修参加だけでなく事業所内研修も心がけている。 ・対応するよう努めている。 ・虐待防止の研修に参加する他、どのようなことが虐待に当たるのかを職員が把握したり、職員会で虐待について情報共有を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			・身体拘束適正化の指針を定めている。 ・身体拘束を行うおそれのある利用者の保護者には事前に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		・必要時には全職員がその都度確認できる体制を取っている。 ・契約の際にアレルギーがあるか聞き取りを行い対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・その都度全職員で共有している。